

(様式1) 補助金等シート
(1) 補助内容

教育総務課-1
令和8年度予算用

1	名称 (予算事業名)	私学振興費補助										
		予算事業名	私学振興費補助									
		予算事業コード	02579									
2	交付開始年度	昭和	49	年度	創設から	53	年度目	3	終期	令和	9	年度
4	分類	事業費補助					5	所属	教育総務課			
6	根拠法令	鈴鹿市補助金等交付規則、鈴鹿市補助金等交付要綱										
7	事業の目的・概要	市内から通学する全ての子どもたちの教育環境の充実を目的に設置者に対して補助する。										
8	補助対象者	私立学校(小・中・中等・高)を運営する学校法人										
	交付先(補助対象者と異なる場合)											
9	補助金額等	(単位:千円)	補助対象事業費(A)	財源内訳				補助率(B/A)	補助対象事業費の繰越額(C)	補助金に対する繰越金の割合(C/B)		
			市補助金(B)	国補助金	県補助金	その他						
		R5年度決算額	16,131	3,813	0	0	12,318	23.6%	0	0.0%		
		R6年度決算額	39,801	3,881	0	0	35,920	9.8%		0.0%		
		R7年度当初予算額 R8年度予算要求額	29,430 25,917	4,095 4,088	0 0	0 0	25,335 21,829	13.9% 15.8%				
10	補助対象事業費の内訳(具体的に記載)	教育に係る教材教具の購入、施設の整備等児童・生徒の教育環境の向上に資する事業に要する経費										
	補助金等の算出根拠(具体的に記載)	【市内】定額200,000円 児童・生徒1人あたり2,500円 鈴鹿享栄学園、伯人学校イーエーエス鈴鹿 【市外】定額50,000円 児童・生徒1人あたり1,500円 エスコラピオス学園、暁学園、四日市メリノール学園、津田学園、高田学苑、セントヨゼフ女子学園、三重朝鮮学園										
	増減理由	対象児童・生徒数が減少見込みのため										

(2) 補助金等判断基準

11	総合評価点	20	12	適否の評価	継続
13	補助金等の判断基準	評価点	評価の理由		
	必要性	5 (減点) 0	少子化に伴う児童・生徒数の減少等により私学経営は困難な状況が続いている中、事業費補助を実施することにより、市内から通学する全ての子どもたちの教育環境の充実に資すること、また、児童・生徒の進路選択の幅を広げ、多様な学びの場の確保につながっている。		
	公平性	5	特定の個人・団体等に特権的な恩恵や利益を与えるものではなく、市内から通学する全ての子どもたちに対して、教育の門戸を開いている。		
	効果性	5	【評価の理由】 私立学校が健全に運営することにより、進路の選択の幅を広げ、多様な学びの場を確保するという点において大きな役割を果たしている。 【補助金等の交付により得られる効果・実績・目的の達成状況(具体的に記載)】 私立学校が建学の精神に基づき、特色ある充実した教育を推進することにより、教育環境の充実に資すること、また、児童・生徒の進路選択の幅を広げ、多様な学びの場の確保につながる。		
	透明性	5 (減点)	事業計画に沿った活動を行っており、適切な会計処理を行っている。		

(3) 終期延長の理由(終期を延長した初年度のみ記入)

前回終期 令和 年度

--